

日々前進

令和6年7月1日（月）
倉敷市立郷内中学校
第2学年 学年通信 第4号

学校では、「暑い」という声がよく聞こえてきます。気が付けば「夏」！1学期もあと14日登校するだけになりました。14日だけ……。14日も……。感じ方は様々ですが、確実に時間は進んでいます。この14日をどのように過ごすかによって、素敵な夏休みにつながります。残り少ない授業を大切にしていきましょう。

ところで、みなさんには、ルーティーンがありますか？大谷翔平は、バットで打席の距離を測り、どの打席も同じ距離で、いつものようにバットを振ることを6月から始め、ルーティーンにしました。そうすると、どうなったのでしょうか？打率が上がり、ホームランをたくさん打つことができるようになりました。みなさんがテスト週間に課題に取り組む姿は、とてもよかったです。この姿を、行動を、ルーティーンにしてみませんか？目指せ、学力向上！です。



郷内をきれいに☆一生懸命に掃除をしました！



6月1日に行われた、クリーン作戦。2年生は、郷内幼稚園、郷内公民館、山竹公園を掃除しました。みんな時間いっぱい草をとったり、葉っぱを掃いたりして地域に少し貢献することができました。一生懸命掃除をする姿はかっこよかったです。とても、気持ちの良い時間でした。

郷内幼稚園

郷内公民館

山竹公園



PTA 人権講演会

6月5日に、アーチェリーのパラリンピック日本代表「大江 佑弥」さんを講師に招いて、『夢を持ち続けるそしてあきらめない』を演題に講演していただきました。大江さんによるアーチェリーの実射もあり、真剣に話を聞いていました。

生徒の感想より

どんな困難が立ちは大かっても、夢や希望を信じて頑張り続ける大江さんに、強く胸を打たれました。私は、「～があるから」「～だから」といって、諦めたり、挑戦をやめたりすることがありました。自分ではできないと決めつけるのではなく、自分にだってできると前向きに生きていきたいと思いました。

私は、障害を持っている方に偏見をもつのではなく、誰もが平等に人権はあると思うので、助け合って生きていきたいと思います。障害を抱えることになっても、全力でやりたい事を一生懸命にする大江さんを見てとてもかっこよくて、素敵だと思いました。来年は、受験があるので大江さんのように、諦めず全力で頑張りたかったです。

心に残ったことは、障害があるかないかにかかわらず、困っている人がいたら助けるという言葉です。これからは、困っている人がいたら助けることを心がけたいです。実際にアーチェリーをしているところを見て、とてもすごいと思いました。

手が使えないのに、どうやって弓を引くのかと思っていたら、口で引いて驚きました。元々、手が使えなかったのではなく、大人になってから手が使えなくなったのを知って、自分だったら乗り越えられないと思ってしまうのに、乗り越えて日本代表になってすごいと思いました。

障害を持つようになって、懸命に夢に向かって走り続ける大江さんの姿に感銘を受けました。「夢を持ち続けければ、いつかは叶う」ということを感じました。これからの人生で行き詰ることがあっても、「夢を持ち続ける！そして諦めない」そんな生き方をしたと思います。



生徒総会

生徒会執行部、専門委員長、部長が前に出て、活動報告や会計報告、活動計画などを全校生徒の前で発表しました。生徒が主役の学校を作るために大切な会です。みなさんの意見で学校を作っていく会です。自分の意見を持ち、より良い学校生活が送れるように考え、行動していけるようになると良いです。



個人懇談

7月17日、18日に個人懇談があります。お忙しいと思いますがよろしくお願いします。